

# 緑の相談所だより



No.134

財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑の相談所

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel : 0166-65-5553 Fax : 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成24年2月1日

## 講習会のご案内 (お申込み・受付は前月の20日から)

### 「果樹の剪定と栽培管理」—プラム、サクラホトなど—

とき 平成24年2月19日(日)  
午後1:30~3:30 定員50名  
講師 ふじくらすも果樹園  
代表 増茂 聡さん

### 「洋ラン! 春から夏の育て方」

とき 平成24年2月26日(日)  
午後1:30~3:30 定員50名  
講師 旭川蘭友会  
顧問 笠原幸三さん

### 「春作業-花と野菜の種まきと育苗」

とき 平成24年3月11日(日)  
午後1:30~3:30 定員50名  
講師 相談員



### 「観葉植物の植替え、鉢替え」1人3鉢まで

とき 平成24年4月15日(日) 実費  
午後1:30~3:30 定員20名  
講師 相談員

### 特別講座「園芸薬品と病害虫」

~園芸薬品の正しい使い方~

とき 平成24年3月15日(木)  
午後1:30~3:30 定員50名  
講師 住友化学園芸(株)

元研究開発部長 望田 明利さん

〈講座内容〉家庭園芸の農薬、肥料の総合メーカーの病害虫防除と農薬の最新情報で初心者、熟練者にも大変参考になります。

## 展示会のご案内 (初日は午後から、最終日は4時まで)

「神楽岡公園の四季写真展」2月4日~26日  
出展：井原久夫さん

「温室の植物写真展」3月3日~4月1日  
出展：道新文化センター写真スクール

### 【休館日のご案内】

4月~10月は第2・第4月曜日が休館日です (祝日の場合は翌日)  
11月~3月は毎週月曜日が休館日です ( " )



## 2月の園芸作業

### 1 観葉植物・鉢花類

クンシランの花茎が認められると、いきなり高い温度にしないで2～3週間かけ徐々に室温に慣らし、水も与え花茎を伸ばします。この時、照明時間が長いと蕾のふくらみ開花スピードが早いため、葉の間で開花する原因となります。

シクラメンの花を長く楽しむには、日当たりのよい窓辺に置き、日中20℃、夜間12～15℃を心掛けましょう。液肥の施用、水不足に注意し、傷んだ花茎や葉柄はこまめに取り除きましょう。

アマリリスは開花予定の35～45日前位に植え替えを行い、水やり加温を開始しましょう。通気性の良い用土と球根直径の2倍サイズの鉢に球根の首がでるくらいの浅植えがポイントです。

貯蔵中の春植え球根（グラジオラス、ダリア、カラー等）の点検をしてみましょう。凍害、乾燥、カビ等による腐敗で使用できなくなる場合があります。貯蔵状態の確認をしてみてください。

旭川市の最低気温の平年値も、2月上旬をピークにして徐々に緩んできます。日差しも強くなってくるので、鉢花・観葉植物とも晴天時の窓辺温度の上昇に注意しましょう。しかし、まだまだ極端な低温となる事もあるので注意は必要です。

### 2 洋ラン類

シンビジウムの花は長持ちしますが、最初に開花した花が傷んで来たら、花茎の根元から切取り新芽の成長を促しましょう。新芽は1バルブに1つを残します。

コチヨウランの花も長持ちしますが、新葉の成長を促すため先端の蕾が開花した時に切取り、切り花として楽しみましょう。

## 3月の園芸作業

### 1 観葉植物・鉢花類

シクラメンは、2月に準じた管理を続けましょう。

ポインセチアも日当たり良い場所で、15～25℃の温度、水管理、施肥管理に心掛ければまだまだ楽しめます。

観葉植物も日当たりのよい場所に置いてあり、室温が安定しているものは新葉の展開も目立ってきます。生育に合わせて灌水、施肥回数も増やしましょう。

花壇用草花（ペゴニア、ペチュニア、コリウス、マリーゴールド等）の育苗も中・下旬頃より開始します。ピートバン或はプラグトレイを使って播種し、その後ポリ鉢やプラグトレイに移植し、50～60日間位の育苗となります。

### 2 果樹類

ナシ、リンゴ、オウトウ、スモモ等剪定時期です。徒長枝・込み合っている枝等不要枝を除く間引き剪定、分枝・枝の成長を促す切り戻し剪定は、品質の良い果実の安定生産のための大切な作業です。

オウトウ、スモモでは昨年・一昨年と灰星病の多発で大きな被害を受けた方も多かったと思います。越冬病原に対し発芽前からの薬剤散布、ミイラ果の除去等を実施いたしましょう。

### 3 洋ラン類

シンビジウムの植替えは、花を楽しんだあと新芽が成長期に入る前に行いましょう。

デンドロビウムの植替えは、13℃以上ならいつでも行えますが、花後新芽が2cm位伸びた頃が適期です。

コチヨウランも20℃以上ならいつでも行えますが、一般的には成長開始する頃に行います。

## アカマツ（赤松） 別名 メマツ

マツ科マツ属

—日本の風景にはなくてはならない木—

日本人にとってマツは心をなごませるものがあります。

日本三景のうち二つはマツの風景であり、マツ類のしげるところ必ず風景が美しいという思い入れがあり、能舞台や芝居の舞台の背景には欠かすことができないものとなっています。

葉は緑色二本が対になって、「松葉落ちても二人ずれ」と夫婦愛の標本みたいになっており、またマツは待つに通じ、待ち恋がれる「恋慕う」ということで、恋歌にも多く詠まれています。



庭園や公園・並木になくてはならない木のひとつで、材は建築の構造材などに用いられるほか、松炭は鍛冶屋炭に最適と言われ、刀一振り松炭 30 俵といわれるように、日本刀を打つには欠かせないものです。

林床にはマツタケの発生培地としても利用されています。

なお、道北地方ではアカマツのほとんどがヨーロッパアカマツです。

### 緑の相談 QアンドA (8)

カラコエの花が咲かないのはどうしてでしょうか。咲かせ方を教えてください。

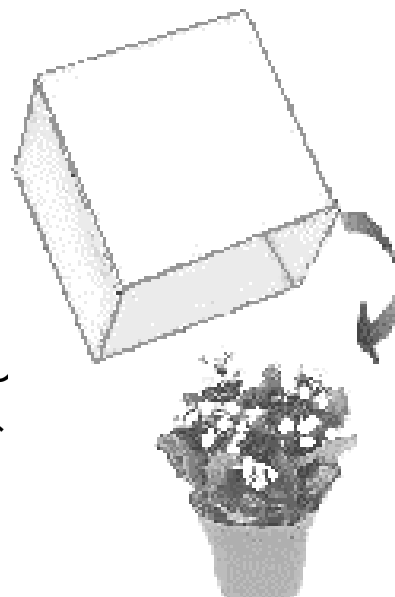
#### 栽培のポイント

**置き場所** 生育にも開花にも日光がポイントになります。少なくとも午前中4時間は光に当たる窓辺に置いて下さい。観葉種は直射日光の量が少なくても育ちますが、反射光程度は必要です。

**短日処理** 花芽を作るために、昼の長さを一定の時間より短くします。10月ころからが適期で夕方5時ころ箱をかぶせ、朝8時ごろ箱を取り、日光に当てます。処理は30~40日間行います。

**水やり** 開花中、生育中を問わずしっかり水やりします。カラコエは多肉植物の仲間なので全般に控え目にしますが、与えるときは鉢底から流れ出るほど与え、受け皿の水は捨てます。次の水やりは、土の表面が乾くまで待ちます。

**肥料** 夏の生育期間は液肥（1,000倍）を月2回、6月~8月は置き肥も与えます。開花期と休眠期は、液肥を月1回与えるとよいでしょう。



# 冬季間の鉢植えの管理

—特に気をつけたい鉢物類—

## コニファー類

耐寒性の強い品種は多いが、クリスマス、お正月用に鉢植えで販売されているゴールドクレストなどは当地での屋外栽培は困難です。室内観賞が主体です。

お正月を終えてから枯れてしまう例が多くありますが、その多くは水枯れによる枯死です。冬季の室内は暖かく乾燥が激しいため、特にマツ類のような常緑の針葉は水枯れすると「萎れ症状」がなくいつに落葉枯死につながります。

お正月が過ぎたら、室内の10度前後の寒いところで育てると良いでしょう。水は鉢の表面が乾いたらタップリかん水して、春まで肥料は施しません。

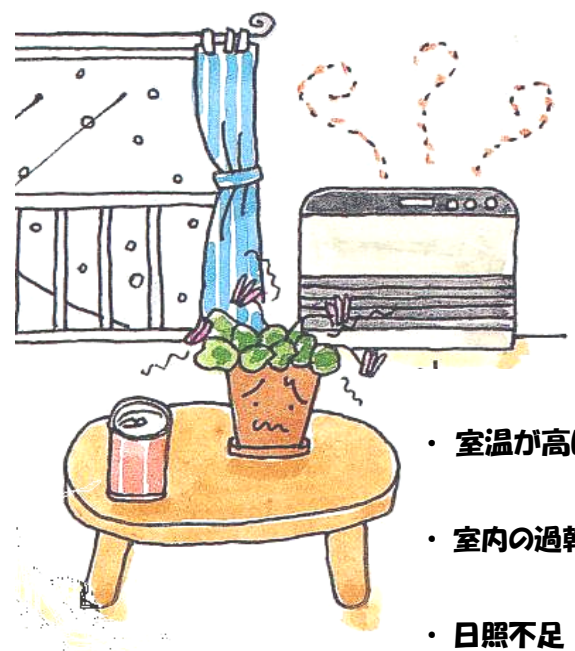
他にかん水不足に気をつけるものではギョウリュウバイ（フトモモ科）やハーブのローズマリーなどの常緑針葉の植物があります。

## シクラメン、ポインセチアなどの鉢花

暖かい居間で楽しんだこれらの鉢花は室内の温度と乾燥と日光不足で生育が非常に悪くなっています。

3月の日差しが待ち遠しい時期ですが、もう少し我慢して育ててください。なるべく日照不足にならないように、晴れた日は窓辺でこまめに太陽に当たるようにしましょう。

かん水はやり過ぎないことで「鉢土が乾いたらかける」が基本です。この場合、鉢土に割り箸などを差込んで鉢の内部の水分を調べて、表面が白く乾いていても内部が湿っていたら1～2日位我慢して、かん水します。特に、過湿に気をつけて管理し、液肥は徐々に与えてください。



- ・ 室温が高い!
- ・ 室内の過乾燥
- ・ 日照不足

## 展示室の植物（41）

### ムセラ・ラシオカルパ（チュウキンレン）

#### バショウ科 ムセラ属

原産地は中国南部からインドシナ半島にかけてです。中国名で雲南地湧金蓮（ウンナンチュウキンレン）と呼ばれるバナナの仲間で、バショウ科の多年草です。

草丈は60から100cm程度で、苞葉が金色のハスの開花というイメージでなんとも幻想的な珍しい開花姿です。当展示室では数年前に開花してからなかなか花が見られません。

